科日其程		專門学校	開講年度 令	3和04年度 (2					
科目番号	WEIDTK	14110			科目区分	専門 / 必修	<u> </u>		
受業形態		演習			単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科		機械工学	 ² 科	対象学年	4				
明設期		前期	-11-1	週時間数	4				
数科書/教	材				学・高等専門学校教育連携プロジェクト(実教出版)ISBN: 978-4-				
33000000000000000000000000000000000000		田中淑田							
	·····································								
イ)手巻 ウ)手巻 エ)手巻	きウインチ(きウインチ(きウインチ(の歯車に関す の軸 歯車以	設計計算ができる。 る設計計算ができる。 外の部品に関する設計 別図、部品表が作成で	計算ができる。 きる。					
レーブ!	リック								
			理想的な到達レベル	理想的な到達レベルの目安		理想的な到達レベルの目安(良)		達レベルの	目安(不可
平価項目	1		意図を持って手巻き に関する設計計算が	ができる。	: 手巻きウインチの 計計算ができる。	軸に関する設	ご関する設 手巻きウインチの軸に関する設計算ができない。		
平価項目:	2		意図を持って手巻き 車に関するの設計計	ラインチの歯 け算ができる。	手巻きウインチの歯 計計算ができる。	車に関する設	手巻きウイ! 計計算がで	手巻きウインチの歯車に関する! 計計算ができない。	
評価項目3			手巻きウインチの組がミスなく作成でき	目立図、部品図 きる。	手巻きウインチの組 が作成できる。	立図、部品図	手巻きウインチの組立図、部品図 が作成できない。		
学科の	到達目標I	頁目との関	係						
IABEE h 本校教育 本校教育	与えられた	:制約の下で記 Dづくり能力 歴学力	§械と設計・生産・シス 計画的に仕事を進め、ま	テム」に関するミとめる能力	専門知識の修得				
效育方法	去等								
既要		設計技術 メカトロした総合	は工学の基礎学力に裏記して コニクス実習で主として のな実習を体験した。	打ちされた高度 機械工作の実技 本授業では、第	な技術と独創的な着想 を修得し、第3学年の 2学年 第3学年の製	が重要である。 創造総合実習で 図、設計法の理	第1学年の類で設計から部別 関解に基づき、	基礎実習、 品加工、組 、「手巻き	第2学年の 立まで一貫 ウィンチの
		設計と製	製図」を行う。また、CA	ADシステムを利	用した製図方法を習得	する。			-
受業の進	め方・方法	設計と製	図」を行う。また、CA	ADシステムを利	用した製図方法を習得	する。			
	め方・方法	設計と製	図」を行う。また、CA 態修修得しておくことが	ADシステムを利	用しに製図方法を習得	9 රං			
主意点		設計と製	図」を行つ。また、CA 修修得しておくことが	ADシステムを利	用しに製図方法を習得	9 රං			
主意点 選択必(修の種別	野前に履	図] を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	ADシステムを利	用しに製図方法を習得	9 රං			
注意点 選択必何 受業の原	修の種別	事前に履・旧カリ科	図] を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	ADシステムを利	用しに製図方法を習得	9 රං	機械設計製図		
注意点 選択必何 受業の原 」アクラ	多の種別 属性・履(事前に履・旧カリ科	図] を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名 	ADシステムを利	用した製図方法を習得機械要素設計A、B、基	9 රං	機械設計製図	IJ I	
注意点 選択必何 受業の原 」アクラ	修の種別 属性・履作 ティブラーニ	事前に履・旧カリ科	図] を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名 	ADシステムを利	用した製図方法を習得機械要素設計A、B、基	9 රං	機械設計製図	IJ I	
注意点 選択必何 受業の原 」アクラ	修の種別 属性・履作 ティブラーニ	製計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング	図」を行つ。また、CA 修修得しておくことが 	ADシステムを利	開した製図方法を習作機械要素設計A、B、基準を関係を関係である。 □ 遠隔授業対応	gる。 E礎製図A、B、	機械設計製図	IJ I	
E意点 選択必何 受業の原 」アクラ	修の種別 属性・履作 ティブラーニ	設計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング	図 ICT 利用 授業内容	望ましい科目:	開した製図方法を習得機械要素設計A、B、基準を関係を関係を関係を関係します。	する。 経礎製図A、B、	機械設計製図 実務経験	図 I 験のある教!	
注意点 選択必何 受業の原 」アクラ	修の種別 属性・履作 ティブラーニ	製計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週	図 ICT 利用 授業内容 手巻きウィンチの設計	望ましい科目:	開した製図方法を習得機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 経礎製図A、B、 でとの到達目標 きウィンチの	機械設計製図 実務経験	図 I 検のある教!	
注意点 選択必何 受業の原 」アクラ	修の種別 属性・履作 ティブラーニ	製計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週	図」を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名 D ICT 利用 授業内容 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計	望ましい科目: 望ましい科目:	開した製図方法を省信機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 歴製図A、B、 ごとの到達目標 きウィンチの きウィンチの	機械設計製図 実務経験	図 I 検のある教績	
:意点 選択必何 受業の] アクラ	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	製計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 日名 	ロンステムを利望ましい科目:	開した製図方法を習得機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 「その到達目標 できウィンチの できウィンチの できウィンチの できウィンチの	機械設計製図 実務経験 実務経験 設計ができる 設計ができる 設計ができる	図 I	
:意点 選択必何 受業の] アクラ	修の種別 属性・履作 ティブラーニ	製計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名 図 ICT 利用 授業内容 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計	望ましい科目:	開した製図方法を習得機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 歴製図A、B、 どの到達目標 きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの	機械設計製図 実務経験 記計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる	図 I 検のある教	
E意点 選択必何 受業の原 」アクラ	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	製計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名 	望ましい科目:	開した製図方法を習得機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 にを製図A、B、 でとの到達目標 きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの	機械設計製図 実務経験 実務経験 実務経験	図 I	
:意点 選択必何 受業の] アクラ	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	題計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 日名 	望ましい科目: 望ましい科目: - - - -	開した製図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 「との到達目標」 「との到達目標」 「きウィンチの」 「きウィンチの」 「きウィンチの」 「きウィンチの」 「きウィンチの」 「きウィンチの」 「きウィンチの」 「きウィンチの」	機械設計製図 実務経験 実務経験 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる	図 I	
:意点 選択必何 受業の] アクラ	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	題計と製 事前に履 ・旧カリ科 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - -	開した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	する。 「との到達目標」 きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの	機械設計製図 実務経験 ままない 実務経験 まかできる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる	図 I 検のある教!	
注意点 選択必付 受業の原] アクラ 公履修 受業計画	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	調託と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	図 を行つ。また、CA	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基機械要素設計A、B、基準	ばとの到達目標 きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの	機械設計製図 実務経験 実務経験 実務経験 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 数計ができる 数計ができる	図 I 検のある教験	
注意点 選択必付 受業の原] アクラ 公履修 受業計画	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	調託と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	図 を行つ。また、CA	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	ばとの到達目標 きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの	機械設計製図 実務経験 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる と表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	図 I 錠のある教!	
注意点 選択必付 受業の原] アクラ 公履修 受業計画	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	設計と製 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - -	開した製図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 にで製図A、B、 にとの到達目標 きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの きウィンチの	機械設計製図 実務経動 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる	図 I 験のある教!	
注意点 選択必付 受業の原] アクラ 公履修 受業計画	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	設計と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	図 を行つ。また、CA	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - -	開した製図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 「との到達目標」 「との到達目標」 「きウィンチの」 きウィンチの きさウィンチの きさウィンチの	機械設計製図 実務経験 実務経験 	図 I	
意点 選択必付 受業の原] アクラ 必履修 受業計画	多の種別 属性・履作 ディブラーコ 画	調託と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	する。 「との到達目標」 きウィンチの	機械設計製図 実務経験 	図 I 検のある教!	
注意点 選択必付 受業の原 コアクラ 必履修 受業計画	多の種別 属性・履信 ディブラー <u>-</u> 画	調託と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	する。 「との到達目標」 「きウィンチの」 きウィンチの	機械設計製図 実務経験 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 設計ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 製図ができる 	図 I 検のある教!	
注意点 選択必付 受業の原 」アクラ 公履修 受業計画	多の種別 属性・履信 ディブラー <u>-</u> 画	調託と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	図」を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	する。 「との到達目標」 「きウィンチの」	機械設計製図 実務経験 	図 I 検のある教!	
注意点 選択必付 受業の原 」アクラ 公履修 受業計画	多の種別 属性・履信 ディブラー <u>-</u> 画	題計と 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	図 を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	する。 「との到達目標」 「きウィンチの」 きウィンチの	機械設計製図 実務経験 	図 I 検のある教!	
注意点 選択必付 受業の原 ご アクラ 必履業計画	修の種別 属性・履信 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	製計と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 113週 14週 15週 15週	図」を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名 図 ICT 利用 授業内容 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの製別 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	する。 「との到達目標」 「きウィンチの」	機械設計製図 実務経験 	図 I 検のある教!	
注意点 選択必付 受業の原 アクラン 浸修 学 計画 が 関	修の種別 属性・履信 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	製計と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 113週 14週 15週 15週	図」を行つ。また、CA 修修得しておくことが 目名	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基 機械要素設計A、B、基 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 5 =	する。 「との到達目標」 「きウィンチの」	機械設計製図 実務経験 	図 I 検のある教!	
主意点と受業の原とのできます。	修の種別 属性・履信 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	製計と数 事前に履 ・旧カリ科 多上の区分 ニング 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 113週 14週 15週 15週	図 下で行っ。また、CA 修修得しておくことが 目名 図 ICT 利用 授業内容 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの設計 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 手巻きウィンチの製図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	望ましい科目: 望ましい科目: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 「との到達目標」 「きウィンチの」	機械設計製図 実務経験	図 I 検のある教!	授業週
注意点 選択必付 受業の原 ファクラ 必履後 計画 対期	多の種別 属性・履作 ティブラーコ 画 1stQ	題計で 事前に履 ・旧カリ科 を上グ 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11	図 を行つ。また、CA	ADシステムを利望ましい科目: 望ましい科目: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	用した製図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準を表現である。	する。 「との到達目標」 「との到達目標」 「きウィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機械設計製図 実務経験	図 I 検のある教師	授業週 前9 前1,前2,前 3,前6,前
に意点 選択必付 受業の原 ファクラ 外履業計画	修の種別 属性・履信 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	題計で 事前に履 ・旧カリ科 を上グ 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11	図 を行つ。また、CA	ADシステムを利望ましい科目: 望ましい科目: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開した契図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準	する。 「との到達目標」 「との到達目標」 「きウィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機械設計製図 実務経動	図 I 検のある教師	授業週
意点とは、受験である。	修の種別 属性・履信 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	題計で 事前に履 ・旧カリ科 を上グ 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11	図 を行つ。また、CA	ADシステムを利望ましい科目: 望ましい科目: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開した契図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準	する。 「との到達目標」 「との到達目標」 「きウィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機械設計製図 実務経動	図 I 検のある教師	授業週 前9 前1,前4,前 3,前6,前
意点 選択必付 受業の原 で で で で で が を で が で が で が で が り で り に り り り り り り り り り り り り り り り り	修の種別 属性・履信 ディブラーニ 画 1stQ 2ndQ	題計で 事前に履 ・旧カリ科 を上グ 週 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11	図 を行つ。また、CA	ADシステムを利望ましい科目: 望ましい科目: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開した契図方法を省信機械要素設計A、B、基準機械要素設計A、B、基準	する。 「との到達目標」 「との到達目標」 「きウィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「きっつィンチの」 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	機械設計製図 実務経動	図 I 検のある教師	授業週 前9 前1,前4,前 3,前6,前

声明的华士	100	100
専門的能力	100	100